

**眼科とアトピー性皮膚炎のタダならぬ関係⑦**

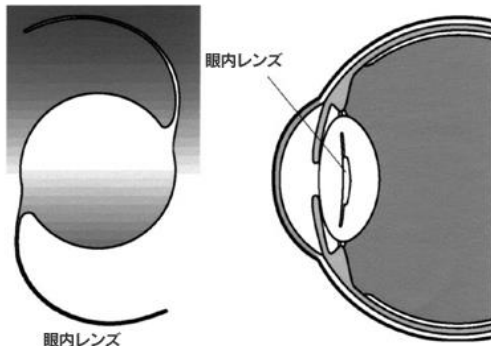
新型コロナウイルス感染症について…冬のピーク時に比べると新規感染の数は減少していますが、比較的多い水準の状況が続いています。GWの連休を控えて「今年こそは旅行をー」という風潮もあり…基本、家族内での旅行は問題ないと思いますが、典型的な大人数でのマスクを外した飲食等は…ちょっと控えるべきなのかなあ…と個人的には思っています。ロシアとウクライナの問題も長引く可能性があり、物価上昇への影響も心配されていますね。なんだか心配事が増え続ける毎日ですが…引き続きの感染対策は大切です。それでは前回号に続いてアトピー性皮膚炎の解説の引用を続けます。@@

3 水晶体を固定するチン小帯の可動性が大きいことがあり手術が技術的に難しい上に、手術後に網膜剥離などの定期的な眼底検査を行うために、大きめの前囊切開を作ることが必要となります。

4 手術後に網膜剥離が発生したり進行したりすることがあり、定期的な経過観察が必要です。

5 眼瞼皮膚炎を合併していると、手術後の感染の危険性が高くなります。また、目のまわりをかいたり叩いたりすると、挿入した眼内レンズがずれる危険があります。予後をよくするために、皮膚科の治療も大切です。

6 眼内レンズの挿入ができない場合、メガネやコンタクトレンズにすることが検討されますが、眼瞼炎や結膜炎がひどいとコンタクトレンズもできないことがあります。



**7-1.アトピー網膜剥離とは**

網膜剥離とは、カメラのフィルムに例えられる網膜(視細胞)が、土台となる組織(網膜色素上皮細胞)からはがれる状態をいいます。

このような状態では網膜に栄養がいなくなり機能が低下して、はがれた網膜に対応した

部分の視野が欠けてきます。網膜の中央である黄斑部が剥離すると、視力が非常に低下します。早い時期に網膜が元通りになれば機能がゆっくり戻ってきますが、時間がたつほど機能の回復は難しくなり、時にははがれた状態のままになってしまいます。



@@  
@@  
今月の引用はここ迄です、続きは次号をお楽しみに。また、白内障手術に際しては眼内レンズを挿入する事になるのですが、手術後は目のピント調節の機能が失われて「完成した老眼状態」となっています。60歳以上の方であればもともと老眼となっている為支障は少ないですが、若年者の場合には注意が必要となります。

**2022年夏季休診日程**

	8/13	8/14~8/21	8/22
AM	○	×	○
PM	×	×	○
	※ × . . . 休診	○ . . . 通常診療	



<http://www.fujita-ganka.com>

**今月のお知らせ**

本年度の夏季休診は上記日程です。ご迷惑をお掛け致します。

FUJITA-EYE-CLINIC  
**藤田眼科**  
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)  
**F-Vision**

☎ **042 (645) 0575**  
☎ **042 (642) 2911**